

児童発達支援職員自己評価結果表

公表：2023年 2月 21日

事業所名:子ども・子育てサポートセンターまなび舎

R2年度	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制	① 利用定員は支援スペース（療育ホール）に対して適正であるか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	② 一日の職員配置数は、法令で定められている定員を満たしているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・シフトで確認しながら職員の配置数を決めるようにしている	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・スロープ、手すりの設置がある	
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りを、職員と共に考えているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・日頃の気付きなどをもっと共有できるようにしてほしい	・定期職員会議を設け、日頃の意見交換を行える場を固定して用意する
	⑤ 保護者アンケートを実施して、保護者の意見を業務の改善に活かしているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑥ この自己評価の結果を、事務所の掲示板やホームページで公開しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
適切な支援の提供	⑦ 職員の資質向上のための研修の機会を確保しているか	8 (67%)	4 (33%)	0 (0%)	・家庭の都合で研修日の出勤が難しい。 ・研修用の資料を持っているが、研修にはあまり出れていない	・毎月の勤務体系に研修をしっかりと組み込み、なるべくすべての職員に受けてもらえるような体制を整える
	⑧ 子どもと保護者のニーズや課題をもとに、児童発達支援計画を作成しているか	9 (75%)	3 (25%)	0 (0%)		
	⑨ 支援計画にはガイドラインから適切な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	9 (75%)	3 (25%)	0 (0%)		
	⑩ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	⑪ 療育プログラムを他の職員に相談しながら考えているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・リーダーや同僚の意見、児童の様子を細かく聞いてからプログラムを作成している	
	⑫ 療育プログラムが同じにならないよう工夫しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・課題の意図は同じであっても、教材をうまく組み合わせさせて変えるよう工夫している	
	⑬ 子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動をそのつど組み合わせて支援計画を作成しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑭ 始業前に職員間で打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・朝礼で確認を行っている	
	⑮ 空き時間に職員間で打ち合わせをし、日々の支援を振り返って気付いた点等を共有しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援内容の改善につなげているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・できる限り細かく子どもの様子を記録するよう努めている	
関係機関や保護者との連携	⑰ 定期的なモニタリングによって、児童発達支援計画の見直しを行っているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	⑱ 相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況をよく理解した者が参加しているか	12 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	⑲ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携を取り合っているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる際、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	4 (33%)	6 (50%)	2 (17%)	・該当する児童の受け入れ経験がない ・聞いたことがないので分からない	・有事の際に対応できるよう、マニュアルの明確化を進める
	㉑ 保育所など（認定こども園、幼稚園、他）との間で、進級に向けた連携をとっているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉒ 小学校など（特別支援学校小学部）との間で、進学に向けた連携をとっているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・引継ぎ会議に参加している	
	㉓ 他の支援事業所、療育センター等の専門機関と協力し、助言や研修を受けているか	8 (67%)	2 (17%)	2 (17%)		
	㉔ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5 (42%)	6 (50%)	1 (8%)	・参加の経験がない	・参加者を募り、希望者はいつでも参加できるよう情報提供と連絡をしっかりと行う
保護者等への説明責任等	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について確認しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・要望があれば課題に取り入れるようにしている	
	㉖ 保護者に対して、子どもと良い関係を築くためのアドバイスや関わり方の支援を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉗ 運営規定、療育の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・契約時に書面と共に伝えている	
	㉘ ガイドラインに基づいて作成された支援計画を示し説明を行い、保護者から同意を得ているか	10 (83%)	2 (17%)	0 (0%)		
	㉙ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・保護者の相談に乗り、困りごとを減らせるような支援に努めている	
	㉚ 苦情について、相談先を保護者に周知し、有事の際に適切に対応できる体制を整備しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・苦情対応の研修と第三者委員の存在について理解している	
	㉛ 事業所内にお知らせ（訓練・感染対策等）を掲載し、子どもや保護者に対して発信しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉜ 個人情報にしっかりと注意しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉝ 気持ちを伝えるのが難しい子ども、保護者との意思疎通のための配慮をしているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	㉞ 緊急対応、防犯等のマニュアルを作成し、職員や保護者の目の届く場所に配置しているか	8 (67%)	2 (17%)	2 (17%)	・あることをしなかった	・より分かりやすい開示の方法を考えると共に、設置場所を増やす等の工夫を行う
非常時等の対応	㉟ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・年に二回行っている	
	㊱ 事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8 (67%)	4 (33%)	0 (0%)	・持病にある子供を受け入れる際の情報共有は、各個人の記録簿に記載し、分かるようにしている	
	㊲ 虐待を防止するための職員研修を行っているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)		
	㊳ ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有する体制を整備しているか	8 (67%)	3 (25%)	1 (8%)	・活用できていないように思う	・研修や事例集はあるものの、日々の業務に浸透していないため、より具体的な方法を検討していく

【まとめ】

- ・ 昨年はコロナ洞に加え、職員不足から日々の業務に追われてしまい、職員間の話し合いの場を十分に設けることができなかった
- ・ 来年度から職員の補填、定例（多くのスタッフが出席できる時間帯での）職員会の設置を行い、職員間の情報共有やモチベーションアップに努めていく
- ・ 情報共有のための仕組みを再度検討し、情報の洩れや意識の低下を防ぐようにしていく
- ・ マニュアルや形式が形骸化してしまわないよう、代表者、リーダーが高い意識を持って研修や職員会議に臨む
- ・ ヒヤリハット事例集の実用化を目標に、日頃のヒヤリハットに該当する気付きを書き留める習慣をもてる工夫を行う